

栃木県青少年育成県民会議表彰優良青少年団体の紹介 ～芳賀町ジュニアボランティア～ (令和4年度表彰)

平成27年度に芳賀町内唯一の中学校である芳賀町立芳賀中学校と協議して、中学生ボランティア組織を設立しました。芳賀中学校の全生徒を対象とし、町内の施設やイベント等でボランティア活動をする中学生を、町教育委員会が「芳賀町ジュニアボランティア」のメンバーとして認定し、支援しています。

中学生が地域の方々と触れ合い、学校や家庭ではできない体験をすることで、青少年の自主性や創造性を育むとともに、多くの地域住民が青少年と活動をすることで、地域における青少年健全育成への理解拡大を図ることを目的としています。芳賀町および町内の生涯学習団体が主催する各種行事にボランティアスタッフとして参加するなど地元に着した活動を続けているため、地域住民からの関心も高く、厚く信頼していただいています。

これまでの活動をいくつかご紹介します。

冒険あそび場「プレーパークしもたか」は、子どもたちと一緒に遊ぶだけでなく、大人や自然、伝統文化と触れ合うなど何でもできる人気のボランティアです。栃木県県民協働推進課で行っている「ボランティア理解促進事業」出前講座で使われている冊子「はじめてのボランティア」にも、このボランティア活動をモデルとしたエピソードが掲載されています。



社会を明るくする運動では、毎年、青少年の非行・被害防止等の強調月間である7月第一土曜日に、町保護司会や町青少年健全育成推進協議会を始めとした町内関係団体と一緒に道の駅はがで街頭啓発活動を行っています。道の駅はがの来場者に積極的に駆け寄って、趣旨の説明をしながら啓発グッズの配布をする姿が見られました。

道の駅はがの主催イベントでは、ミニゲームの運営もしています。高校生ボランティア団体「芳賀町ジュニアリーダーズクラブ」やユースボランティア団体「つむぎ」と一緒に射的やまり入れなどを行います。目線を合わせてお話ししてくれるので、小さいお子様からも大人気です。



芳賀町民会館で開催される町自主事業イベントでは、受付や客席案内の他に芳賀町のマスコット「はがまるくん」に扮したり、出演した芸人さんと球拾いをしたり、様々な体験をしてもらいました。町外や県外の来場者からも「中学生がこんな活動をしているんだ」と興味を持っていただいています。

中学生が入口や受付で元気よく挨拶する姿を見るだけで、地域の方から「元気になる」「中学生が地域や町に貢献していて素晴らしい活動」とありがたい声を多数いただきます。また、小学生のころに芳賀町ジュニアボランティアと触れ合い、中学校でボランティア活動に参加し、卒業後は芳賀町ジュニアリーダーズクラブに加入して町内でボランティア活動をする生徒も多数います。

この活動が中学生にとって、ボランティア活動や地域交流の楽しさを体験するだけでなく、「自分の居場所」や「自分に何ができるか」を見つけるきっかけになっていれば幸いです。